



ミスミグループ通信

vol.49 2017年4月1日～2018年3月31日

証券コード：9962



MISUMI Art Collection

マリーナ・カポス

《ロニー, 2002》

解説は裏表紙をご覧ください。

© Marina Kappos



「時間戦略」を追求し、
製造業のプロセス革新を支援することで、
さらなる成長を目指します。

代表取締役社長 CEO

大野 龍隆

ミスミグループの提供価値と、社会的使命

ものづくりの構造変化が加速する中、ミスミグループの主要顧客である製造業からは近年、設計工数の短縮や生産計画の円滑な実行などが、一層強く求められています。こうした合理化・短縮化のニーズを踏まえ、私たちは顧客企業に「時間」という価値を提供してきました。2018年3月期（以下、2017年度）につきましても、従前から磨き上げてきた「確実短納期」のさらなる進化に

継続して取り組みました。

ミクロン単位のサイズ要望に応えるミスミブランド商品、幅広い品揃えを誇る他社ブランド商品、そして競合企業にないサービスを製造業のお客さまに最適な形で提供することが、私たちの使命です。これからも、ミスミグループは世界の製造業が進めるプロセス革新を支えていきます。

7期連続で、過去最高売上高・利益を更新

2017年度における国内外の経営環境は、全体として緩やかな景気回復の動きが見られました。米国では、通商問題に対する影響などの不透明感が足元にあるものの、雇用者数、設備投資が徐々に増加するなど、景気の回復傾向が継続しました。中国では総じて底堅い景気の動きが続き、その他アジア各国および欧州でも緩やかな回復基調が続きました。日本においても、設備投資が引き続き堅調に推移し、企業収益や雇用情勢が改善しました。

こうした環境下、当社グループの2017年度は、メーカー事業と流通事業を併せ持つ業態を活かしながら、これを支える事業基盤を継続強化した一年でした。顧客の非効率を解消することで、世界の製造業が進めるプロセス革新に大きく貢献しながら、同時に、国際市場での一層の事業拡大を加速させることができました。さらに、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進するとともに、国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバルでの確実短納期体制の強化に努めました。これらの体制強化などにより、FA事業および金型部品事業では自動車業界やエレクトロニクス業界などの旺盛な需要を取り込むことに成功し、ほぼ計画どおりの着地となりました。VONA事業※では、品揃えの強化などによって国内販売

が大きく伸長したことに加え、国際展開の推進により海外売上高も伸長し、連結売上高の拡大に寄与しました。

その結果、連結売上高は3,129億円、前年比で20.8%の増収となりました。利益については、営業利益は348億円（前年比28.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は256億円（同39.2%増）となりました。売上高・利益ともに7期連続で過去最高を更新しました。

※VONA：Variation & One-stop by New Alliance

ミスマブランド以外の他社商品も含めた生産設備関連部品、製造副資材やMRO（消耗品）などを販売する事業

業績

	2016年度		2017年度
売上高	2,590.1億円	▲	3,129.6億円
営業利益	271.2億円	▲	348.4億円
経常利益	264.6億円	▲	346.7億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	183.8億円	▲	256.0億円

現状の事業モデルをより付加価値の高い、製造業に最適化したECモデルに

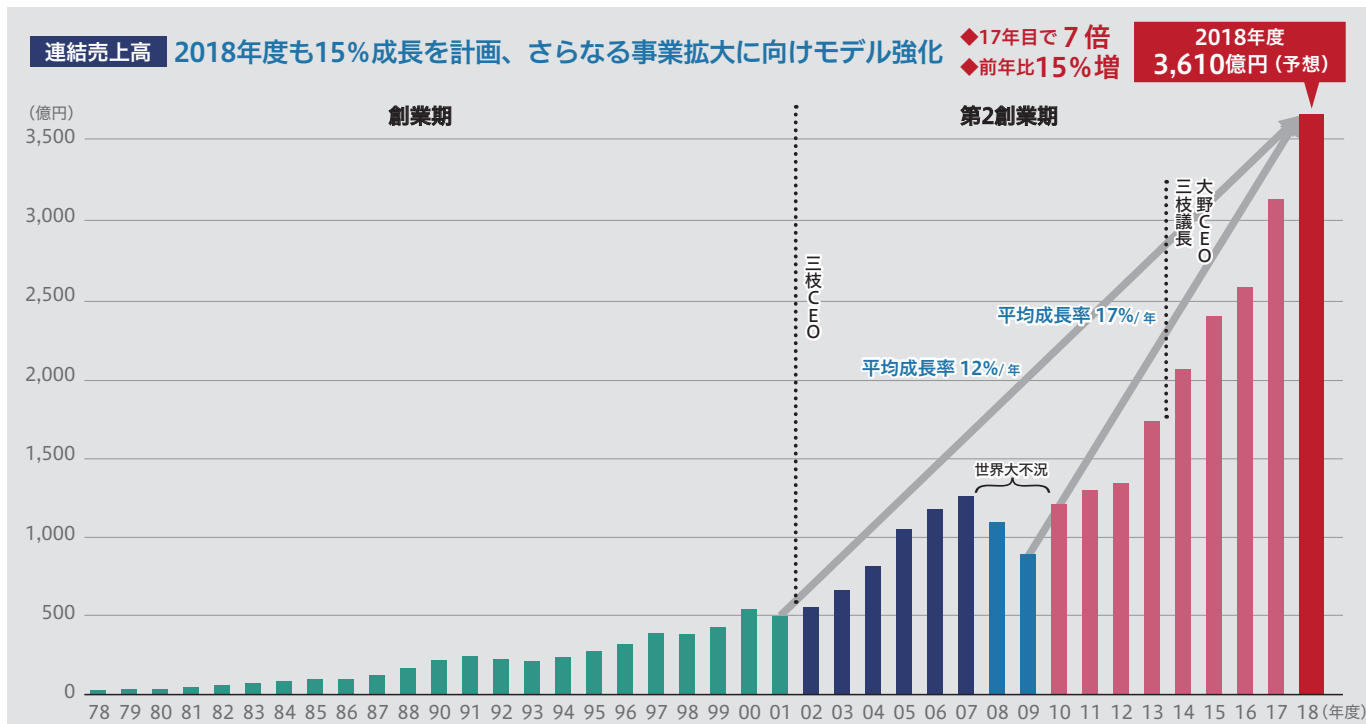
ミスミグループの好業績を支えてきたのは、メーカー事業とVONA事業、そしてこれらを支える生産、物流、IT等の事業基盤です。今後も、この事業モデルをより付加価値の高い、製造業に最適化したECモデルとして確立し、競合他社に対する圧倒的な差別化を実現する考えです。

メーカー事業においては、デジタルものづくりへの対応を継続し、グローバルでの確実短納期供給体制の強化

を図ります。日本と中国、アジア、欧州、そして米州、それぞれの生産能力を拡充し、世界的な自動化需要の高まりに対して先手を打っていきます。また、生産面では拠点の量的な拡充だけでなく、これまで培ってきた生産改善手法などをグローバルで展開するなど質的な向上も図っていきます。

近年の成長が著しいVONA事業は、国内において商品

■ミスミグループの業績推移



取扱数が2,070万点、参画メーカーは3,300社を超え、製造業向けの品揃えとしては最大規模を維持しています。2019年3月期（以下、2018年度）は、マレーシアとインドでの立ち上げを予定するなど、グローバル展開にもさらに注力していきます。また、ミスミグループのメーカー機能やグローバルネットワークなどの強みを活かし、既存の流通では対応の難しい「商品追加工」や異なるメーカー部品の「組立加工」といった顧客ニーズについても、マスカスタマイゼーションで対応していく戦略を推し進めます。

事業基盤については、さらなるグローバル確実短納期

体制の強化に向けて物流拠点を現在の15拠点から18拠点に拡充します。日本においては需要が集積する中部地区の確実短納期供給を目的に、愛知県に「中日本流通センター」を2018年度秋に新設する予定です。また、IT基盤も継続強化を進め、ECサイトの進化、基幹システムのクラウド化など確実短納期の信頼性をより高める取り組みを行っていきます。2018年度の通期連結業績予想については、商品ラインアップの拡充とコスト競争力強化を進めるほか、グローバル確実短納期供給の強化によって優位性を発揮し、売上高・利益ともに8期連続で過去最高を更新する見込みです。

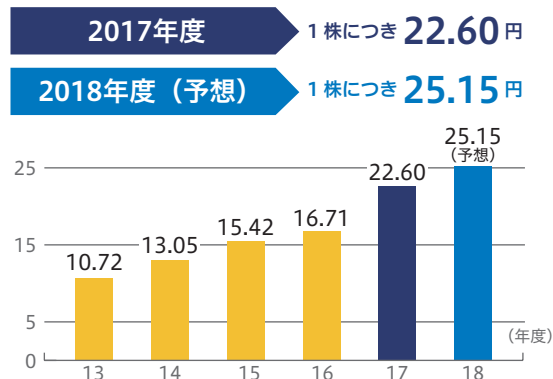
株主の皆さまへ

生産材プラットフォームの業態変革に取り組んできたミスミグループは、2017年度に連結売上高3,000億円を突破することができました。2009年度を起点としますと、2017年度までの平均成長率が17%となっています。この成長は2009年度から急に始まったものではなく、2002年に三枝前CEOが着任して以来、毎年着実に実施してきた経営改革の連鎖の上に成り立っています。そして、当社グループは今後も、攻めの経営を堅持し、さらなる持続成長を目指します。

2017年度の配当金につきましては、通期で22.60円となりました。業績が好調に推移したことにより7期連続で過去最高を更新いたしました。

皆さまには引き続き、一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

一株当たり配当金[※]（単位：円）

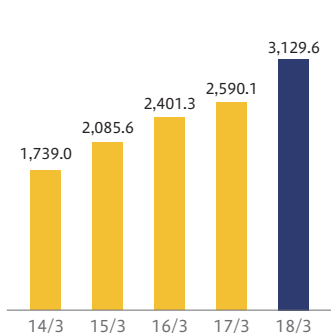


※2015年7月1日付の株式分割調整後

財務ハイライト

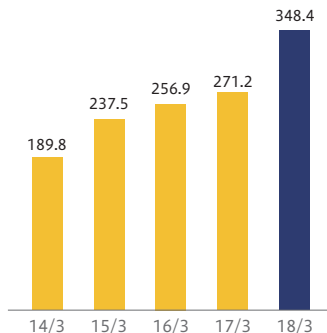
売上高 (単位：億円)

3,129.6 億円
前期比 20.8% 増 




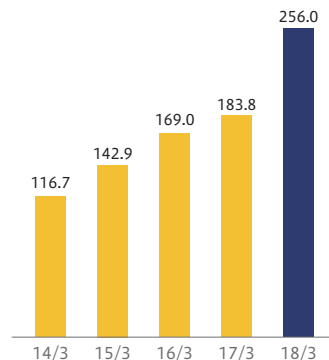
営業利益 (単位：億円)

348.4 億円
前期比 28.5% 増 



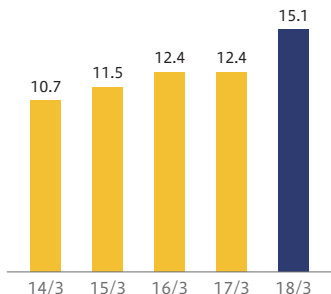
親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位：億円)

256.0 億円
前期比 39.2% 増 



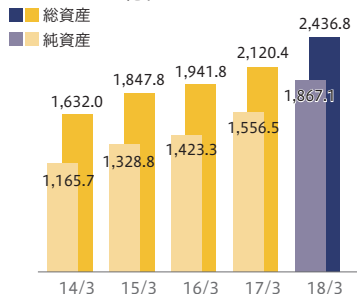
R O E (単位：%)

15.1 %



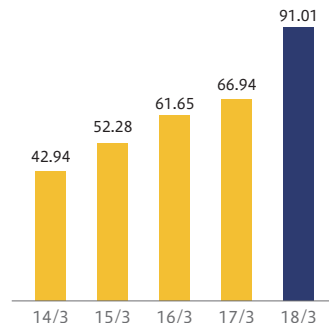
総資産・純資産 (単位：億円)

総資産 **2,436.8** 億円
純資産 **1,867.1** 億円



一株当たり当期純利益※ (単位：円)

91.01 円



※2015年7月1日付の株式分割調整後

詳しい情報は、ミスミグループのIRページへ

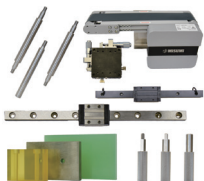
ミスミIR

検索 



セグメント概況

FA 事業



生産現場で使用する自動機、精密生産装置などに利用する精密機械部品の開発・提供をしています。

売上高

前期 846.6 億円 → 当期 1,051.8 億円

営業利益

前期 144.1 億円 → 当期 201.7 億円

売上高比率

33.6%

金型部品事業



主に自動車、電子・電機機器分野で加工に必要となるプレス金型またはモールド金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・提供をしています。

売上高

前期 697.9 億円 → 当期 765.2 億円

営業利益

前期 30.9 億円 → 当期 58.6 億円

売上高比率

24.5%

VONA 事業



工具や手袋など生産現場で使用する製造副資材や消耗品まで幅広い商品ラインナップを提供。ミスミブランド以外のメーカー品も取り揃えた流通事業です。

売上高

前期 1,045.4 億円 → 当期 1,312.6 億円

営業利益

前期 99.5 億円 → 当期 90.1 億円

売上高比率

41.9%

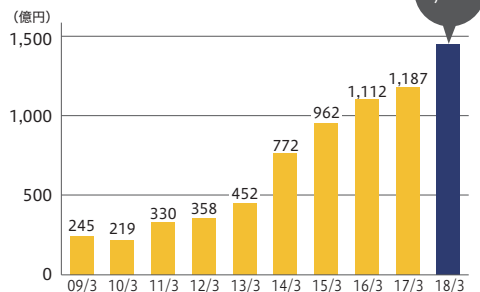
地域ごとの状況

2018年3月期
海外売上高比率

46.8%

	前期	当期
中国・アジア	760.3 億円	991.8 億円
アメリカ	257.9 億円	269.8 億円
ヨーロッパ	125.8 億円	154.8 億円
その他	42.9 億円	48.6 億円
日本	1,403.0 億円	1,664.4 億円

海外売上高



連結財務諸表（要約）

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2018.3.31現在	前期 2017.3.31現在
資産の部		
流動資産	183,083	160,281
現金及び預金	65,502	63,179
受取手形及び売掛金	67,817	57,847
その他	49,763	39,254
固定資産	60,601	51,759
資産合計	243,685	212,041
負債の部		
流動負債	49,687	37,246
固定負債	7,278	19,135
負債合計	56,965	56,382
純資産の部		
株主資本	183,994	153,724
その他の包括利益累計額	1,208	805
新株予約権	986	675
非支配株主持分	529	453
純資産合計	186,719	155,658
負債純資産合計	243,685	212,041

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2017.4.1～2018. 3.31	前期 2016.4.1～2017. 3.31
売上高	312,969	259,015
営業利益	34,848	27,127
経常利益	34,679	26,462
親会社株主に帰属する当期純利益	25,601	18,387

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2017.4.1～2018. 3.31	前期 2016.4.1～2017. 3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,324	19,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,887	△ 6,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,725	△ 4,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	161	△ 25
現金及び現金同等物の増減額	3,872	9,417
現金及び現金同等物の期首残高	47,840	39,204
現金及び現金同等物の期末残高	51,713	47,840

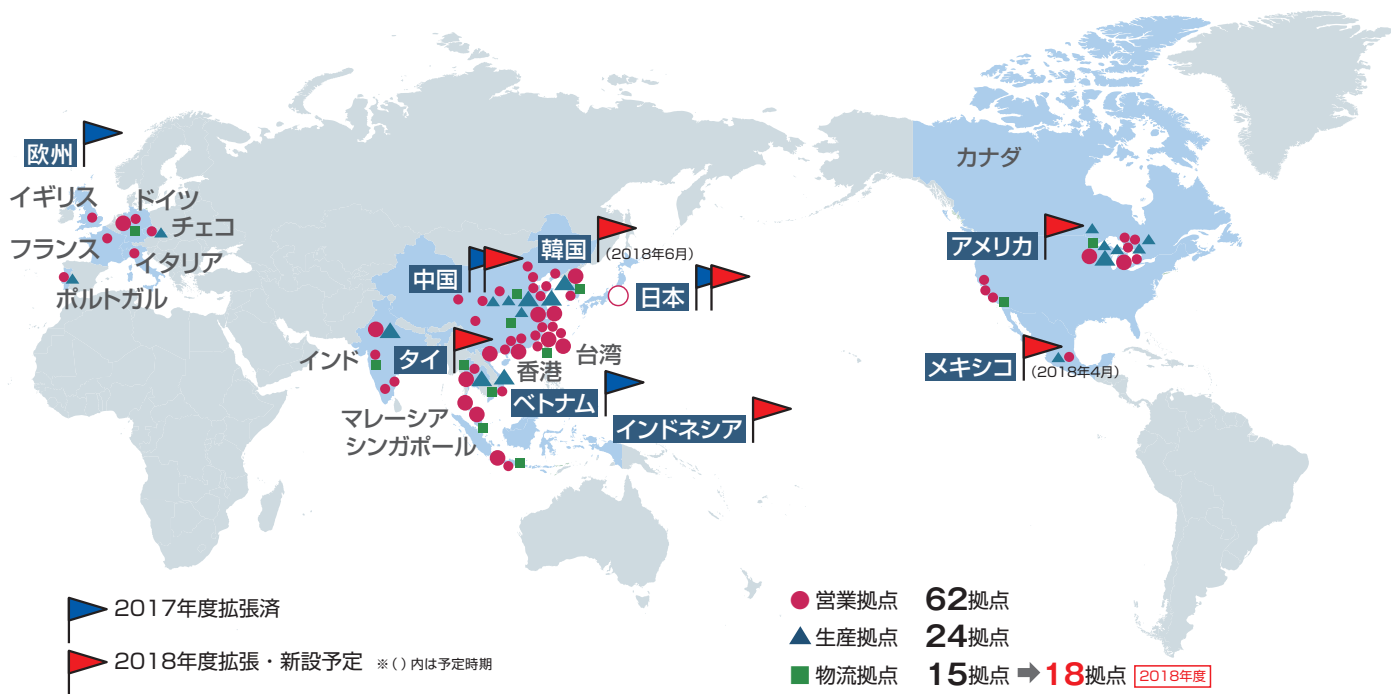
グローバル物流拠点の拡張

より強固なグローバル確実短納期体制を構築すべく、物流拠点の拡充に取り組んでいます。

2017年度には日本、欧州、中国、ベトナムで拠点を拡充いたしました。また、2018年度には日本、アメリカ、メキシコでそれぞれ拠点を新設し、グローバルの物

流拠点は18拠点まで拡大する予定です。

日本では需要が集積する中部地域への確実短納期強化を狙い、愛知県に「中日本RCセンター」を設立します。さらなる自動化の促進とBCP（事業継続計画）への対応強化を図っていきます。



会社情報

■ 会社概要 (2018年3月31日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名：MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル
資本金	128億1千2百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随する グループ経営に必要な機能を有する
従業員数	11,241名 (ミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/



■ ミスミグループトップマネジメント (2018年6月14日現在)

取締役	代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	シニアチェアマン	三枝 匡
	取締役副社長	池口 徳也		
	常務取締役 CFO	男澤 一郎		
	常務取締役 CIO	佐藤 年成		
	取締役 (社外)	小城 武彦		
	取締役 (社外)	西本 甲介		

経営 執行役	ミスミグループ本社	企業体・本部・サービスプラットフォーム	
	代表取締役社長 CEO	大野 龍隆	中国企業体 代表執行役員 企業体社長 金谷 知樹
	取締役副社長	池口 徳也	アジア企業体 代表執行役員 企業体社長 清水 重貴
	常務取締役 CFO	男澤 一郎	FA企業体 代表執行役員 企業体社長 中川 理恵
	常務取締役 CIO	佐藤 年成	VONA企業体 VONAエレクトロニクスG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長 中村 茂仁
	常務執行役員	内田 洋輔	VONA企業体 VONAメカニカルG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長 高阪 貴夫
	常務執行役員	和田 高明	VONA企業体 VONAツールサプライG事業本部 代表執行役員 グローバル事業本部長 加藤 匡一
	常務執行役員	丸井 武	3D2M企業体 代表執行役員 企業体社長 吉田 光伸
	常務執行役員	恒松 孝一	物流サービスプラットフォーム 代表執行役員 岡本 道明
	グループ統括執行役員	有賀 誠	生産サービスプラットフォーム 代表執行役員 遠矢 工
	グループ統括執行役員	萩平 和巳	MIGサービスプラットフォーム 副代表執行役員 白尾 直樹
	グループ統括執行役員	白石 裕	

監査役	監査役	宮本 博史	創業者	シニアチェアマン 第2期創業者	三枝 匡
	監査役 (社外)	野末 寿一		特別顧問・創業者	田口 弘
	監査役 (社外)	青野 奈々子			

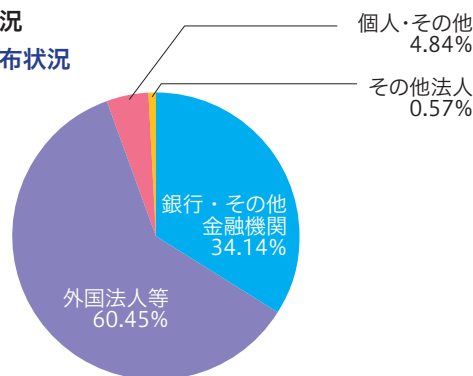
株式の状況 (2018年3月31日現在)

■発行可能株式総数	1,020,000,000株
■発行済株式総数	283,439,597株
■株主数	6,711名
■大株主	

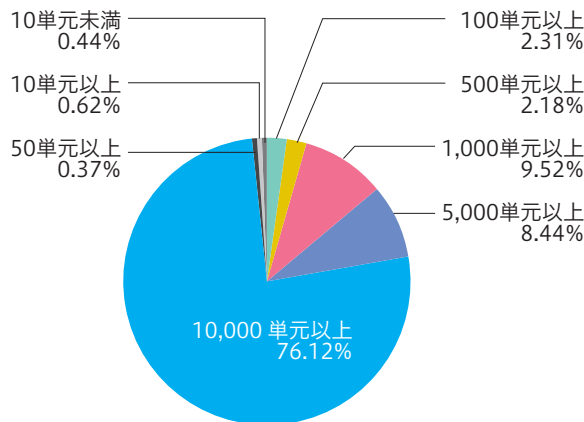
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	45,233	15.96%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	23,401	8.26%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 常任代理人 香港上海銀行東京支店	12,215	4.31%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	10,678	3.77%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	6,152	2.17%
田口 弘	5,530	1.95%
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,302	1.87%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	5,043	1.78%
資産管理サービス信託銀行	4,656	1.64%
MSCO CUSTOMER SECURITIES 常任代理人 モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社	4,535	1.60%

(注) 持株比率は小数点以下第3位を四捨五入しております。

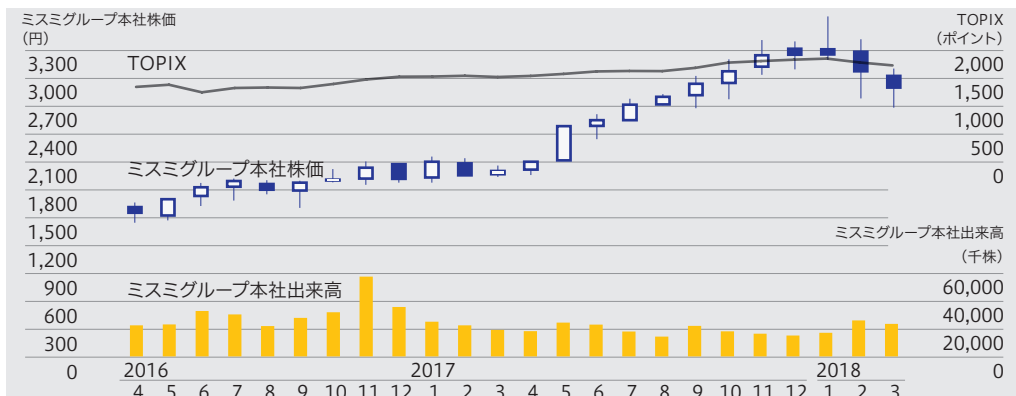
株式の分布状況 所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



■株価の推移



■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00-17:00)
(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない 事故その他やむを得ない事由が生じた場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/

■ 注 意 事 項 ■

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、さまざまな要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買取請求その他各種お手続きについて

原則、株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。
なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

MISUMI Art Collection

Marina Kappos [Ronni]

マリーナ・カポス《ロニー》、2002年

マリーナ・カポスはロサンゼルス的美大を卒業後、イェール大学院で学んだ秀才。陰影がない画面はカッターで切り抜いたケント紙をキャンバスに当て絵具を塗って作られる。ロニーは彼女の双子の妹。ジュエリーデザインをしている、首元のペンダントがそうだ。でも目を引くのはパンダの帽子だろう。上野のパンダは大人気、文化大革命真っ最中の中国では辰年の代わりにパンダ年を作ろうとした。実現していれば面白かったのに。



株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル

TEL : (03)5805-7037 FAX : (03)5805-7014

URL : <https://www.misumi.co.jp/>

